

【能代潟 化粧まわし・番付表寄贈展】



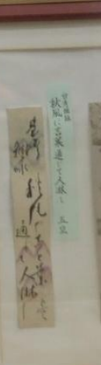
能代潟

大関 能代潟 錦作之碑

時津風勝男 謹書



引退後引退後 記念立止



【能代潟とは】

秋田が生んだ最初の大関である。明治28年4月5日「滝の沢」に生まれた。本名は「石田岩松」。大正4年に初土俵を踏み、同10年5月入幕、同15年5月には大関となり在位20場所、幕内42場所という記録を残した。昭和3年3月の名古屋場所では10勝1引き分けで優勝したほか、2場所が同点だった。

能代潟の特徴は、一つは長寿力士であり、二つには大関から2度陥落しながら、またはい上がったという、気力と粘りであった。昭和12年に41歳1か月で引退したあと、年寄立田山。定年で辞めたあとは、親友の双葉山に請われて時津風部屋の顧問格となった。また、筆の字がうまく、馬の絵が得意だった。

主催：藤里町教育委員会 寄贈者：田口 則子 様（能代市二ツ井町出身）

場所：藤里町三世代交流館図書室（※入館無料）

期間：令和8年7月14日（火）～ 8月23日（日） 時間：午前10時～午後6時



引退後(国技館事務所前)
検査役立田山



能代湯

能代湯の杖袋

天覧相模杖袋



能代湯

中村時壽

昇進証明書



大岡 能代湯の明荷

能代

靴と雪駄

藤里町歴史民俗資料館で展示している
能代湯に関する歴史資料